

横浜市立あかね台学校 平成31年度 豊かな心の育成推進プラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
○ 「チームあかね台」として、全教職員で「生徒が生き生きと輝く学校づくり」を目指します。	
・ 生徒が主体的に取り組む「わかる・魅力ある授業」を実践し、思考力・判断力・表現力を高めるとともに、指導と評価の一体化を図り、工夫・改善に努めます。	
・ 生徒会活動・学級活動・部活動・ボランティア活動など、生徒の自主性・主体的な活動を重視し、集団への帰属感・自己有用感・自尊感情を高めます。	
・ 生徒・教職員が安心して生活できる学校にするために、ユニバーサルデザインを意識して、安心・安全に配慮した学習環境の保持・整備と日常の危機管理に努めます。	
・ いじめ・不登校の未然防止のため、日常的な生徒との関わりや相談活動・家庭訪問を通して、生徒のコミュニケーション能力を育成し、「信頼」と「共感」に基づく生徒・保護者との関係づくりを進めます。	
・ 優しさや思いやりの心を育む「心の教育」を推進するために、教育活動全体を通して行う道徳教育・人権教育の充実を図ります。	
・ 家庭・地域および関係機関との連携、9年間で育てる子ども像の実現のため、小中一貫教育を更に推進し、社会を生き抜く力の育成に努めます。	
・ 学校評価に基づき、保護者・地域の方々の信頼と期待に応え、教職員がやりがいや達成感、子どもの成長を実感できる学校運営を進めます。	
・ 学校運営協議会を通して、「地域とともにある学校」を目指すとともに、地域学校協働活動本部との活動を推進します。	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	生徒一人ひとりが、人権感覚を養い、日常生活での人権についての問題点を自ら考え、解決していく力を育成します。	①道徳の授業の研修を行い、道徳指導力を高めていく。②人権講演会を実施し、より体験的に人権問題と向き合える機会をつくり、社会での問題点について考えさせていく。③「人権作文」を通し、生徒自身が人権課題に向き合い、解決できるように指導する。
担当	道徳部	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

落ち着いて穏やかに生活ができている一方、他に対して思いやりの欠ける言動が見られる場面ある。常に人権について考え、問題意識をもって、解決できる能力を育む必要があると思われる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実

年間計画に基づいて、生徒の発達段階にあった道徳の授業を行います。

自ら考え、解決方法を見いだせるように、指導方法や評価のあり方、教材の効果的な活用方法等について研究をしていきます。そのため、全学級の道徳の授業を公開し、授業の質を高め、生徒の意識づけを行います。

【視点1】

指針2 体験学習の充実

校外行事の活動を通して、遠足では人間関係づくりや信頼関係の構築、自然教室では創造し協力する姿勢を身につけます。

【視点3】

夏まつりの手伝い、地域ケアプラザとの交流、地域防災訓練への参加、エコキャップ回収運動の実施などのボランティア活動に取り組み、社会貢献の意識づけを行います。

【視点4】